

テーマ8

位置情報を活用したデジタルバリアフリーマップの構築（浜松市）

1. 解決したい課題の内容

- ・浜松市は「思いやりの心が結ぶ優しいまち」を基本理念として、平成12年度(2000年度)からユニバーサルデザイン(UD)のまちづくりを推進している。
- ・第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画では、誰にでも伝わる情報発信として「ICTを活用したUD情報の発信」を掲げている。
- ・車イス利用者などの障がい者や高齢者、妊婦、子育て世代の方、また本市を観光等で訪れた人にとって、訪問先がバリアフリー化された施設かどうか、また現在地から自分が必要としている設備(多目的トイレ等)がどこにあるのかといった情報は非常に重要であるが、本市にもそれらの情報をまとめたプラットフォームの構築が求められている。
- ・政令市においては、20市中11市がバリアフリー情報を発信している。

2. 実現したい目標について

- ・市内施設等のバリアフリー情報を広く発信することで、障がいのある人や高齢者、妊婦等を含め、誰もが気軽に安心して出かけることができる環境が整備されている。
- ・公共施設だけでなく、民間施設や店舗等にも情報発信について協力をいただき、市全体でUDのまちづくりが浸透している。
- ・バリアフリーマップをホームページで公開し、いつでもどこでもバリアフリー情報を入手できる。
- ・浜松をはじめて訪れた人でも簡単にバリアフリー情報を入手することができ、安心して滞在できる。
- ・現在位置から周辺のバリアフリー施設を検索したり、目的地までのバリアフリールートを検索することが可能となっている。

3. 必要とする技術について

- 一例として以下を想定するがこれにこだわらない。
- ・GIS、位置情報システム、オープンデータ活用技術

4. 想定する実証実験(内容・希望時期等)について

- 一例として以下を想定するがこれにこだわらない。
- ・上記技術等を用いて市内フィールドにてアプリケーション・プラットフォームのプロトタイプの使用感を検証する。
- 可能なら現在地から目的地までのバリアフリールートの検索も可能にしたい。

5. 課題に関連する事業のホームページURL

- ・国土交通省「“みんなで作る”バリアフリーマップ作成マニュアル」

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000222.html

- ・国土交通省「バリアフリーマップ作成に関するアンケート調査結果」

<https://www.mlit.go.jp/common/001317356.pdf>

- ・静岡市「浜松市バリアフリーマップ」

<https://ud-shizuoka.jp/>